

2019年4月
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
首席客演指揮者に就任



藤岡幸夫, 指揮者

Sachio FUJIOKA, conductor

公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>

©Shin Yamagishi

1962年東京生まれ。幼少よりピアノ、チェロを学ぶ。故・渡邊暁雄の最後の愛弟子。サー・ゲオルグ・シヨルティのアシスタントを務める。

日本フィル指揮研究員を経て1990年に英国王立ノーザン音楽大学指揮科に入学。在学中は奨学金特待生に選ばれる他、数多くの賞を受賞。

1992年マンチェスターにて最も才能ある若手指揮者に贈られる「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を日本人にもかかわらず特例で受賞。同年ルトスワフスキ・フェスティバルにて作曲者の前で「管弦楽のための協奏曲」を指揮、英ガーディアン紙に「計りしれなく将来を約束された指揮者」と絶賛される。

1993年BBCフィルの定期演奏会に出演し「タイムズ」紙などで高く評価され、翌1994年副指揮者に就任。同年、ロンドン夏の風物詩「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー、大成功を収める。以降ロイヤル・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィルをはじめ数多くの海外オーケストラに客演。スペインでのオペラ公演デビューとなった2006年スペイン国立オヴィエド歌劇場ブリテン「ねじの回転」がその年の同劇場の新演出オペラのベスト・パフォーマンス・オブ・ザ・イヤーに選ばれると、2009年にはR.シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」で再客演、ふたたび脚光を浴びた。2016年3月にはブリュッセルでオーギュスタン・デュメイ、ヴァレリー・アファナシエフと共演。2017年5月にはアイルランド国立交響楽団にマーラーの第5交響曲で客演、聴衆総立ちの大成功を収めた。

英国マンチェスター室内管弦楽団首席指揮者、日本フィルハーモニー交響楽団指揮者を歴任し、現在関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者。毎年40公演以上を共演し2018年で19年目のシーズンを迎えた関西フィルとの一体感溢れる演奏は聴衆を魅了、高い評価を得ている。

英シャンドスと契約し、これまでにBBCフィルと8枚のCDをリリース。関西フィルとはALM RECORDSにシベリウス交響曲全曲録音を進行中。

大晦日のテレビ東京系全国ネット「東急ジルベスター・コンサート」に2回、2012年NHK大河ドラマ「平清盛」の劇中音楽の指揮、「題名のない音楽会」をはじめとするテレビ、ラジオへの出演など広く活躍。なかでも2014年10月の番組の立ち上げに参画し、指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSジャパン「エンター・ザ・ミュージック」(毎週月曜23:00~)は、現在放送4年目を迎えている。

2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。

滋賀県長浜市文化観光大使。

2019年4月、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席客演指揮者に就任する。

公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>

(2018年2月現在)